

授業計画・成績評価・卒業要件

□授業計画書の作成に係る取組の概要

各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。

現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。

新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。

□授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。

[平常科目]

各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。

各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上を得た科目を合格とする。

[期末試験]

前期末・後期末に各学科ごとに設定される課題を提出する。

各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。

所定課題を提出して平均点60点以上で合格とする。

□卒業の認定方針の策定・適切な実施に係る取組の概要

各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して卒業資格を得た専門課程学生に対し卒業認定を行う。

単位認定)

- ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が60点以上の者を合格とし単位を与える。
- ・各授業科目において3分の2以上出席していることが単位判定の基準とする。

試験・審査)

- ・各学年前期末審査・進級審査において60点以上、卒業審査において70点以上の者を合格とする。

上記基準を満たした者に卒業資格を付与し、卒業判定会議において校長が卒業認定の判定を行う。